

2011年度決算発表

【第68期】

2012年5月15日



住友軽金属工業株式会社

目次

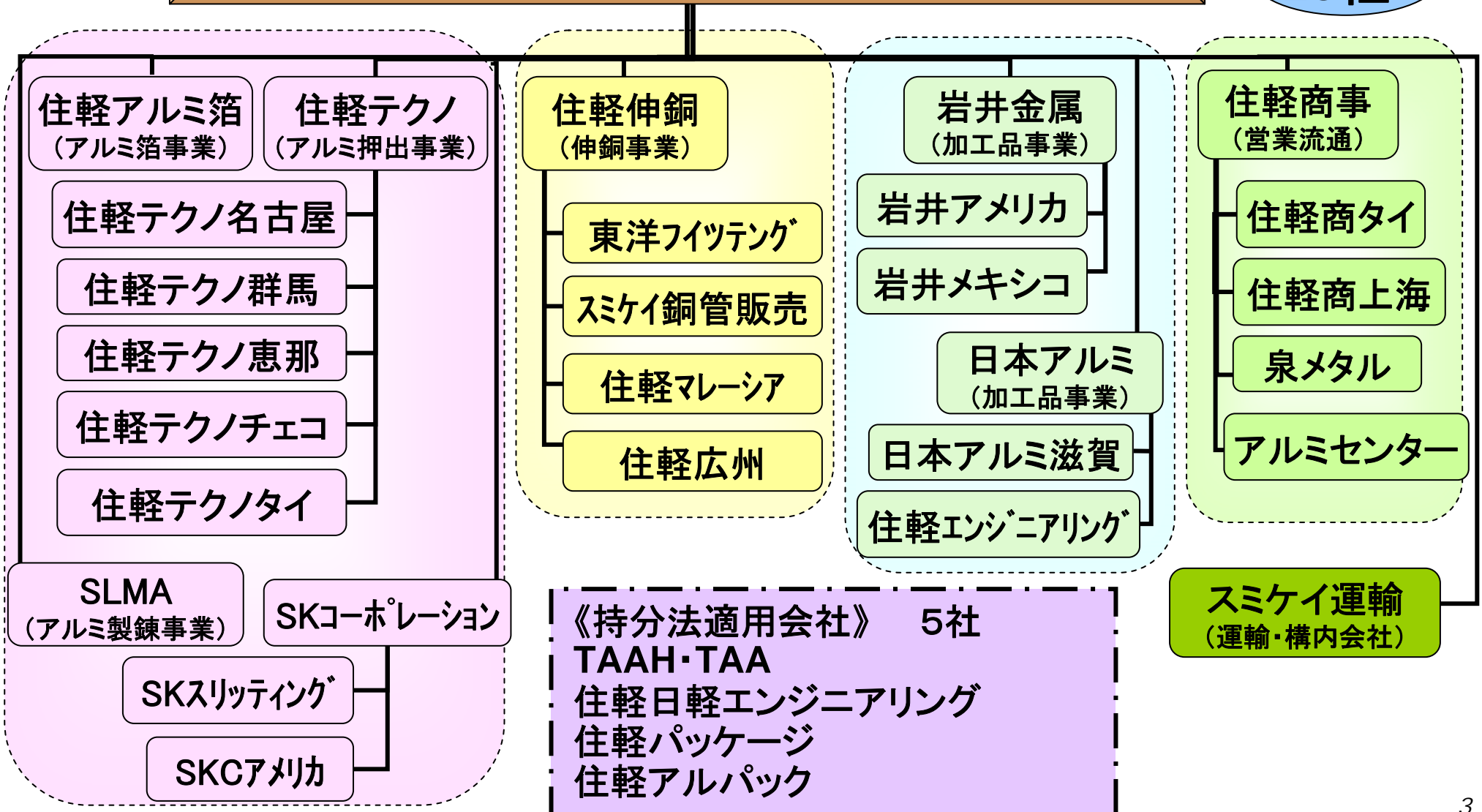
1. 連結決算概要
2. 単体決算概要
3. 今期業績予想
4. 第四次中期経営計画の進捗状況
(SUMIKEI VISION 2012)

1. 連結決算概要

① 連結子会社

住友軽金属工業(アルミ板事業)

連結対象
28社



②当期のポイント (連結)

1. 経常利益:102億円、当期純利益:83億円

- ・秋以降の需要が世界経済の減速によって低調に推移したこと等により、経常利益は対前年比減少したものの102億円を計上
- ・投資有価証券評価損を63億円計上したものの、繰延税金資産を追加計上したこと等により、当期純利益は増加

2. TAA買収

米国アルミ缶材圧延メーカーを他社と共同で買収

3. 公募増資:110億円

TAA買収資金に充当

4. 配当:1.5円/株

リーマンショック後、4期振りの復配(予定)

③ セグメント別売上高・営業利益（連結）

（単位：億円）

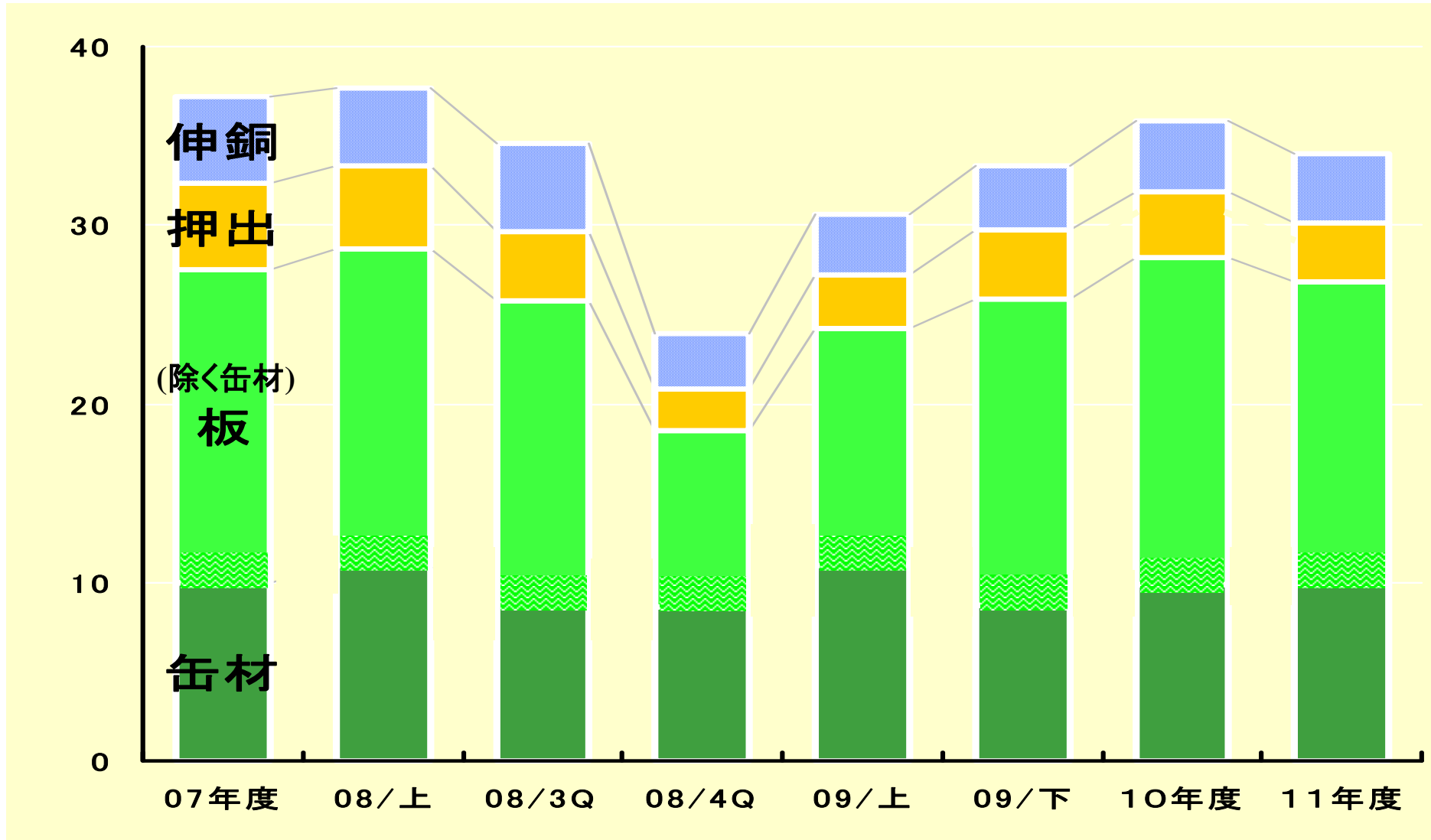
	10年度		11年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	1744	177	1668	132	△76	△45
伸銅品	450	3	483	14	33	11
加工品・関連事業	401	5	438	9	37	4
調整	—	△29	—	△32	—	△3
合計	2595	156	2589	123	△6	△33

※売上高対前年同期増減事由

数量構成差	地金価格差	新規連結	合計
△78	22	50	△6

④ 品種別販売量推移

千トン/月



⑤ 連結損益

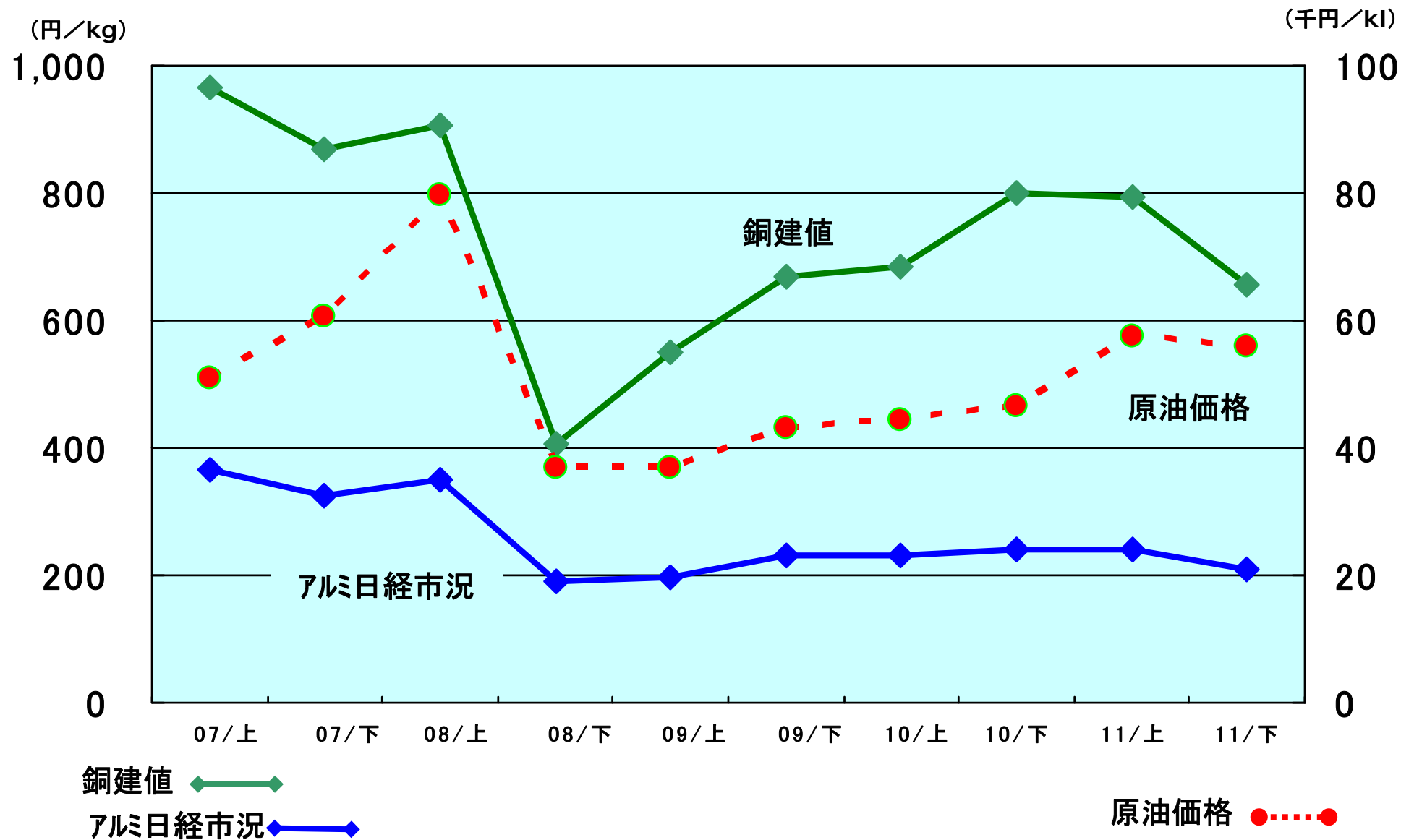
(単位：億円)

連結	10年度	11年度	増減	伸率%
売上高	2595	2589	△6	△0.2
営業利益	156	123	△33	△20.8
経常利益	115	102	△13	△11.2
当期純利益	72	83	11	15.4
設備投資	46	52	6	
減価償却費	95	92	△3	

* 特別損益内訳(主要科目)

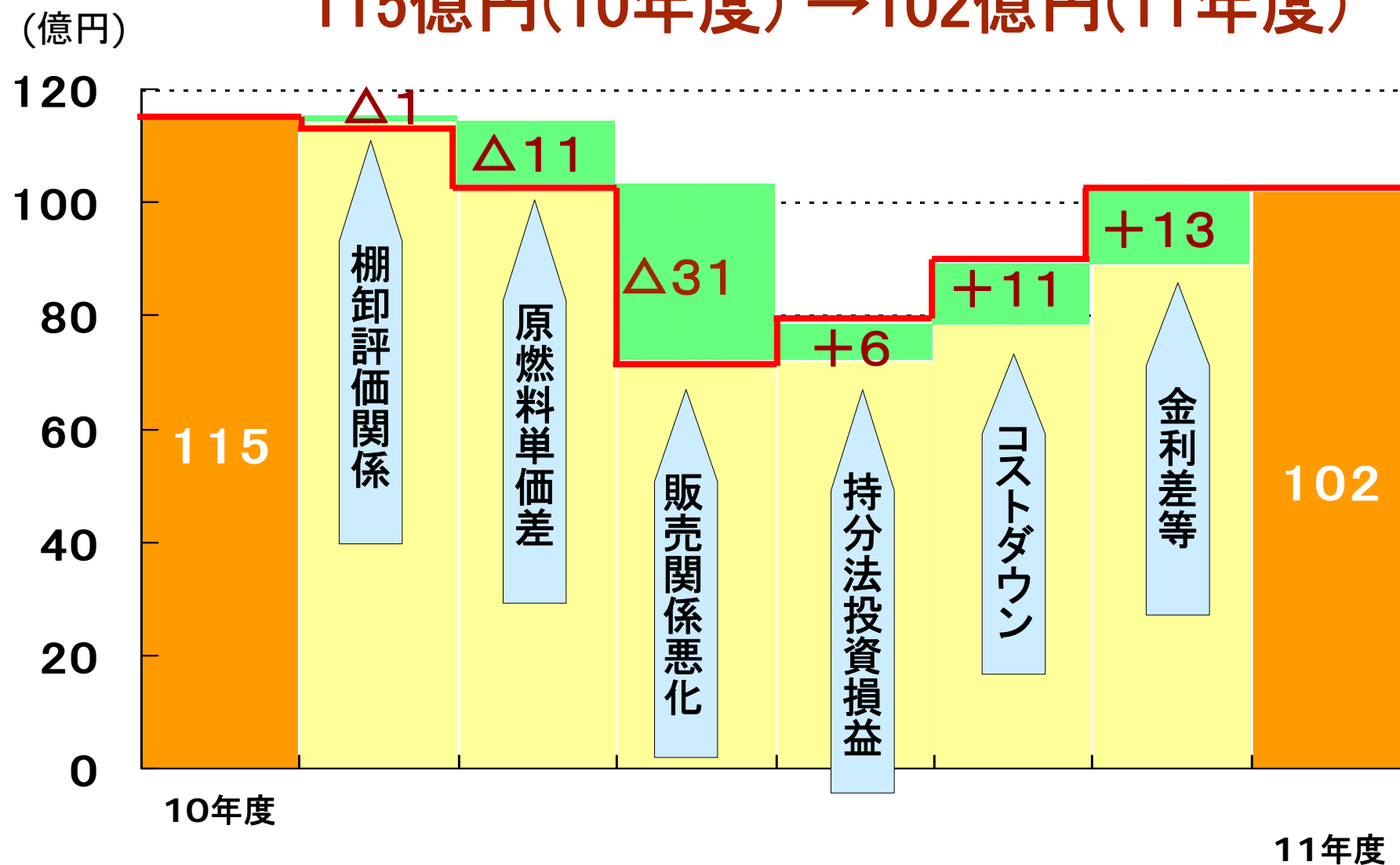
	10年度	11年度
投資有価証券売却益	—	12
投資有価証券評価損	—	△63
資産除去債務	△12	—
減損損失	△11	△9
法人税等調整額	9	58

⑥ アルミ・銅地金及び原油価格推移



⑦ 連結経常損益分析

115億円(10年度) → 102億円(11年度)



⑧ 連結B/S主要項目

(単位：億円)

連結	11年3月末	12年3月末	増減
株主資本	390	583	193
その他の 包括利益累計額他	△37	△50	△13
純資産	353	533	180
純資産比率	11.5%	16.5%	5.0%
総資産	3066	3222	156

有利子負債	1652	1546	△106
-------	------	------	------

⑨ 配当

〈配当方針〉

以下の事項を勘案しつつ配当額を決定する

- 安定した配当の継続実施
- 企業価値向上の為の投資資金確保
- 財務体質の強化

〈復配の実施〉

- ◆ 連結配当体制の構築（連結子会社からの特別配当）
- ◆ 資本準備金取崩（株主総会で決議済み）
- ◆ 当期利益の計上

配当 1.5円／株

リーマンショック後4期振り（前回配当：2008年3月期）

2. 单体概要

① セグメント別販売量

(単位:千トン、億円)

	10年度		11年度		増減	
	数量	金額	数量	金額	数量 伸率%	金額
アルミ板事業	338	1255	322	1191	△16 △4.7%	△64
その他	—	246	—	206	—	△40
アルミ圧延品計	—	1501	—	1397	—	△104
伸銅品	48	435	(上期) 24	242	△24 △50.0%	△193
合計	—	1936	—	1639	—	△297
住軽テクノグループ°	44	312	39	286	△5	△26
※住軽伸銅	—	—	(下期) 22	214	22	214

(※住軽伸銅 2011年10月分社化)

② 損益・B/S

(単位：億円)

	10年度	11年度	増減	伸率%
売上高	1936	1639	△297	△15.3
営業利益	113	83	△30	△26.8
経常利益	83	68	△15	△18.2
当期純利益	64	173	109	2.7倍

* 特別損益内訳(主要科目)

	10年度	11年度
関係会社受取配当金	—	40
資産除去債務	△10	—
減損損失	△10	—
法人税等調整額	12	57

	10年度	11年度	増減
純資産	249	516	267
純資産比率	9.6%	20.5%	10.9%

3. 今期業績予想

① 今期業績見通しのポイント

1. 経常利益：130億円、当期純利益：90億円

欧州債務問題やエネルギー価格の高騰といった懸念はあるものの、
経常利益、当期純利益の増加を目指す

2. 配当：年間 3.5円/株

中間配当：1.5円/株、期末配当：2.0円/株

3. 成長戦略の遂行

《国内》コスト構造改革・成長戦略の遂行

- ・加工品事業の再編：(株)ナルコ岩井設立 (2012.7)
- ・日立電線の銅管事業撤退に伴う設備購入 (2012.3)
- ・アルミセンター銅事業のスミケイ銅管販売への譲渡 (2012.4)
- ・SKスリッティングのSKコーポレーションへの合併 (2012.4)

《海外》成長戦略の更なる検討・実施

- ・住軽テクノタイ 設備増設 (2012.9)

② セグメント別売上高・営業利益予想(連結)

(単位: 億円)

	11年度		12年度予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	1668	132	1705	150	37	18
伸銅品	483	14	531	21	48	7
加工品・関連事業	438	9	414	11	△24	2
調整	—	△32	—	△32	—	0
合計	2589	123	2650	150	61	27

③連結損益予想

(単位：億円)

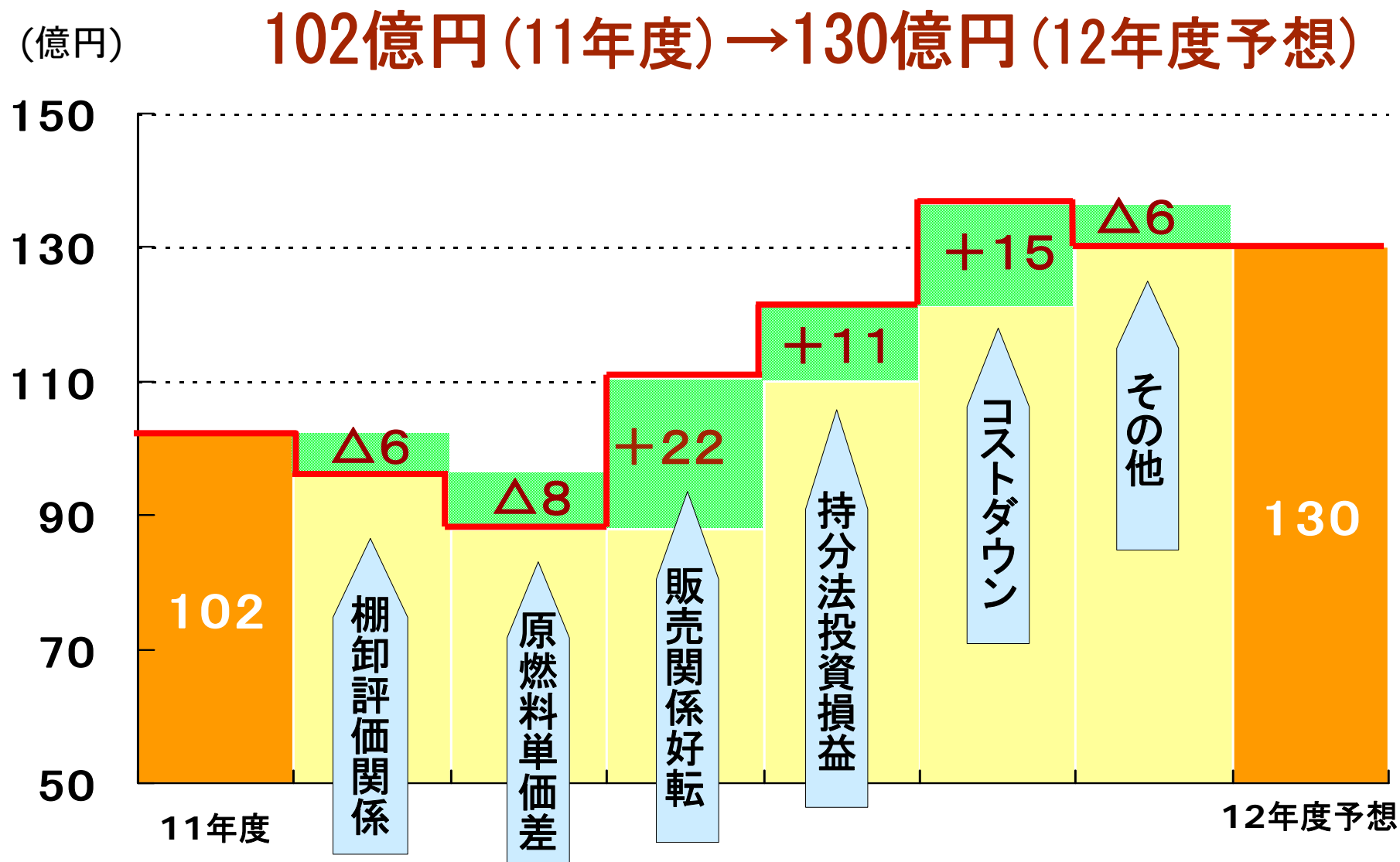
連結	11年度 実績	12年度 予想	増減	伸率%
売上高	2589	2650	61	2.3
営業利益	123	150	27	21.5
経常利益	102	130	28	27.7
当期純利益	83	90	7	8.5

設備投資	52	76	24
減価償却費	92	81	△11

* 前提諸元

アルミ日経市況	銅建値	為替	原油通関価格
223円/Kg	690円/Kg	76円/\$	110\$/バレル

④連結経常損益分析



⑤ 配当予想

〈配当方針〉

以下の事項を勘案しつつ配当額を決定する

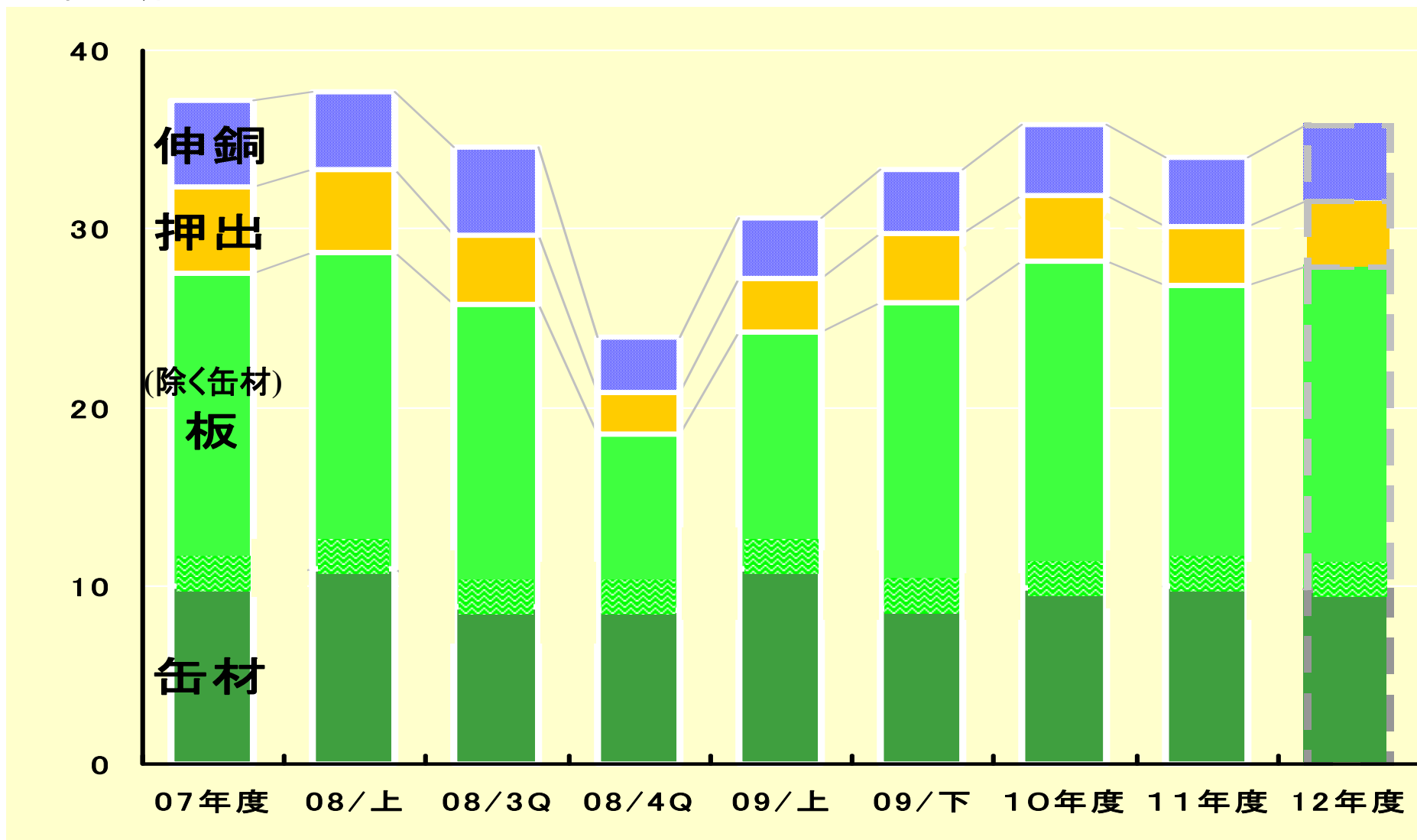
- 安定した配当の継続実施
- 企業価値向上の為の投資資金確保
- 財務体質の強化

2012年度 年間配当 3.5円／株

〔 中間配当 1.5円／株
期末配当 2.0円／株 〕

⑥ 品種別販売量推移

千トン/月



⑦セグメント別販売計画量

(単位:千ト、億円)

	11年度		12年度		増減	
	数量	金額	数量	金額	数量 伸率%	金額
アルミ板	322	1191	334	1200	12 3.8%	9
その他	—	206	—	200	—	△6
アルミ圧延品計	—	1397	—	1400	—	3
伸銅品	24	242	—	—	△24	△242
合計	—	1639	—	1400	—	△239
住軽テクノグループ°	39	286	44	303		
住軽伸銅	22	214	51	466		

4. 第四次中期経営計画 の進捗状況 (SUMIKEI VISION 2012)

①環境認識

1 グローバルな成長市場の奪い合い

2 新規製品分野の成長

3 ユーザー海外展開のスピードアップと方針変化

4 海外メーカー、
特に中国／韓国軽圧メーカーの脅威の増大

②中長期的課題

『ありたい姿』

お客様にとっての

ベスト・グローバル・パートナー

『実現のための中長期的課題』

- 1 技術開発力の優位性の維持・強化(既存分野/新規製品分野)
- 2 品質・納期・技術サービス等による海外メーカーとの差別化
- 3 海外展開ユーザーへのグローバルな供給体制構築
(ローカルメーカーにも供給可能な競争力を確保した供給体制)
- 4 上記を含めた持続的成長投資が可能な安定的収益構造と
財務体質の実現

③ 基本方針

「守り」と「攻め」の両立へ

- 1 コスト構造改革と財務体質の早急な改善
- 2 成長戦略のビルトイン
- 3 技術開発力の更なる強化
- 4 コーポレートガバナンス、
コンプライアンス体制の強化
- 5 復配の早期実現

④数値目標

第4次中期計画
「SV12」開始

単位: 億円

連結	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 予想	2012年度 中計目標
売上高	3,276	2,782	2,335	2,595	2,589	2,650	2,600
営業利益	180	△77	52	156	123	150	190
経常利益	133	△143	30	115	102	130	150
ROA	5%	△2%	2%	5%	4%	5%	7%
有利子負債	1,966	2,058	1,792	1,652	1,546	1,450	1,450
純資産比率	15%	6%	9%	12%	17%	19%	20%
一般投資	82	92	57	39	45	59	
戦略投資	—	—	—	12	139	25	
計	82	92	57	51	184	84	250/3年間

3年間319億円 (リースを含む)
※内110億円は公募増資により調達

⑤ コスト構造改革

◆ 加工品事業再編

2009年10月 (新)日本アルミグループスタート
2012年7月予定 ナルコ岩井設立

◆ 押出素材/部材事業再編

2010年4月 住軽テクノグループスタート

◆ 伸銅事業の再編

2011年10月 住軽伸銅分社化
2012年4月 アルミセンター銅事業の
スミケイ銅管販売への譲渡

◆ 自動車熱交部材販売・加工子会社の再編

2012年4月 SKスリッティングの
SKコーポレーションへの合併

◆ 大幅な在庫削減等

⑥ 成長戦略の遂行

【海外投資】

- 北米缶材拠点 (TAA) 取得 (2011.8)
- 住軽テクノチェコ 第2期増設工事(2010.1)
- 住軽テクノタイ 生産開始(2011.4) 設備増設(2012.9予定)
- 住軽商昆山 板加工設備増設(2011.8)
- 上海営業拠点開設(2011.5)

【国内投資】

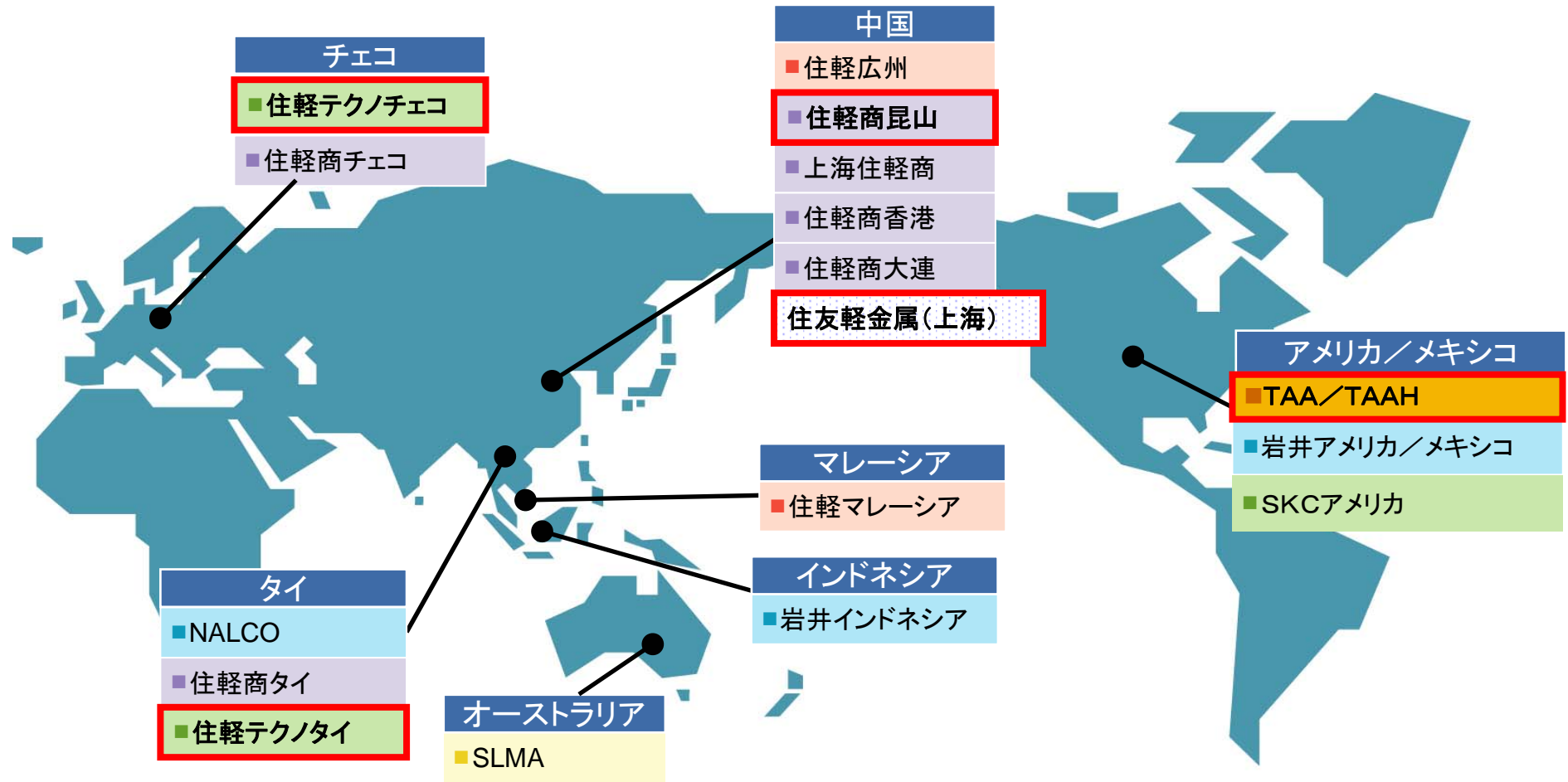
- 新冷間圧延機設置 (2010.1)
- リチウムイオン電池箔用スリッター増設(1台目2010.7/2台目2011.7)
- チタン管設備増設 (2010.11)
- SKコーポレーション買収 (2011.4)
- 日立電線の銅管事業撤退に伴う設備購入 (2012.3)

【成長分野への注力】

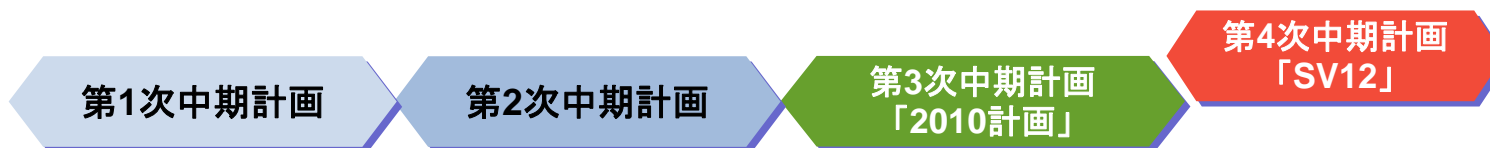
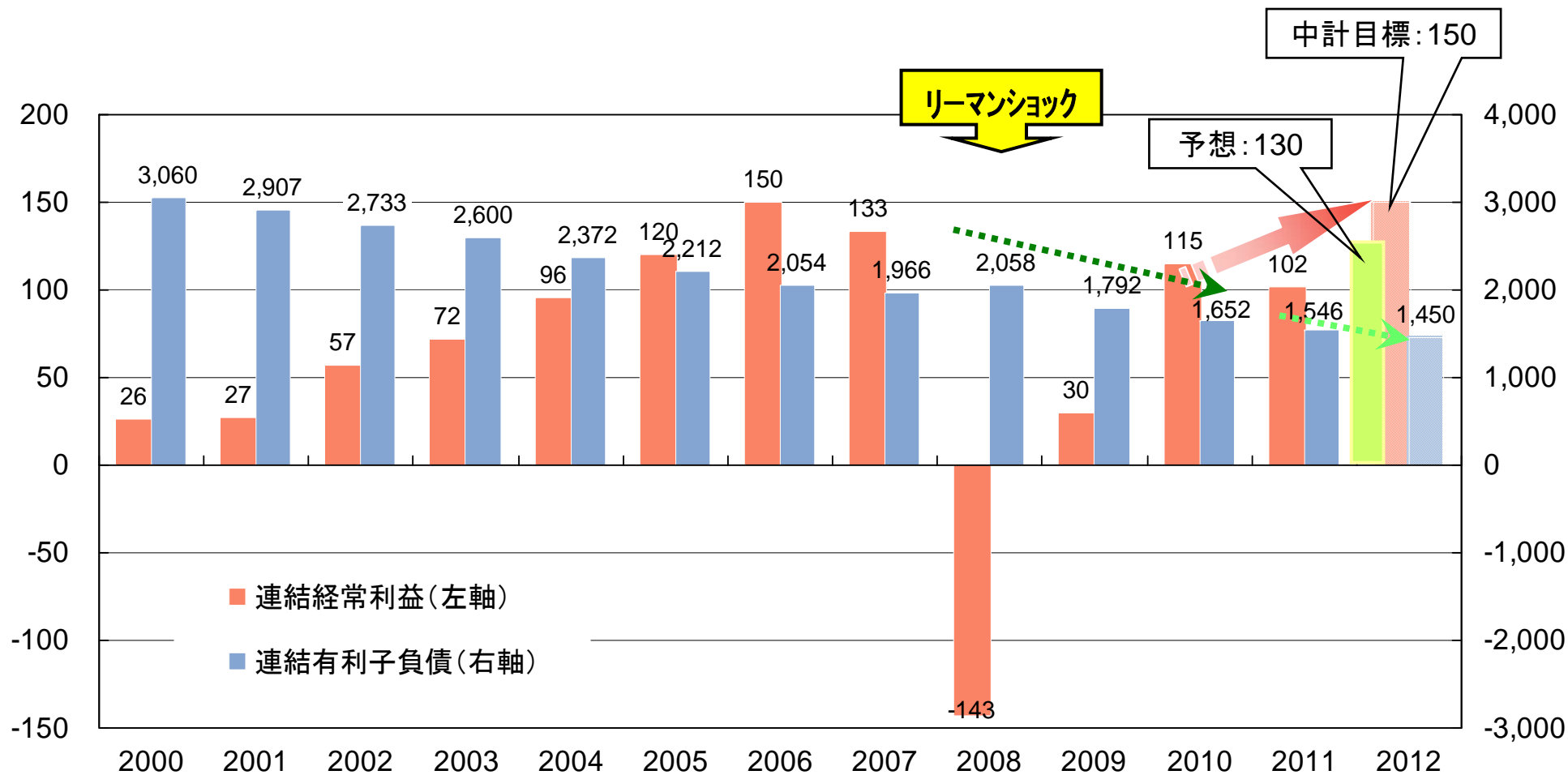
- 自動車向け素材及び加工品 (エコカー関連部材)
- IT用アルミ部材 ① リチウムイオン電池、キャパシタなど
② パソコン、タブレットPC、スマートフォン
- エアコン用オールアルミ熱交

⑦ グローバル供給体制

事業部門	■ 板部門	■ 押出部門	■ 伸銅部門
	■ 加工部門	■ 流通部門(住軽商事グループ)	■ 製錬部門



⑧ 経常利益と有利子負債

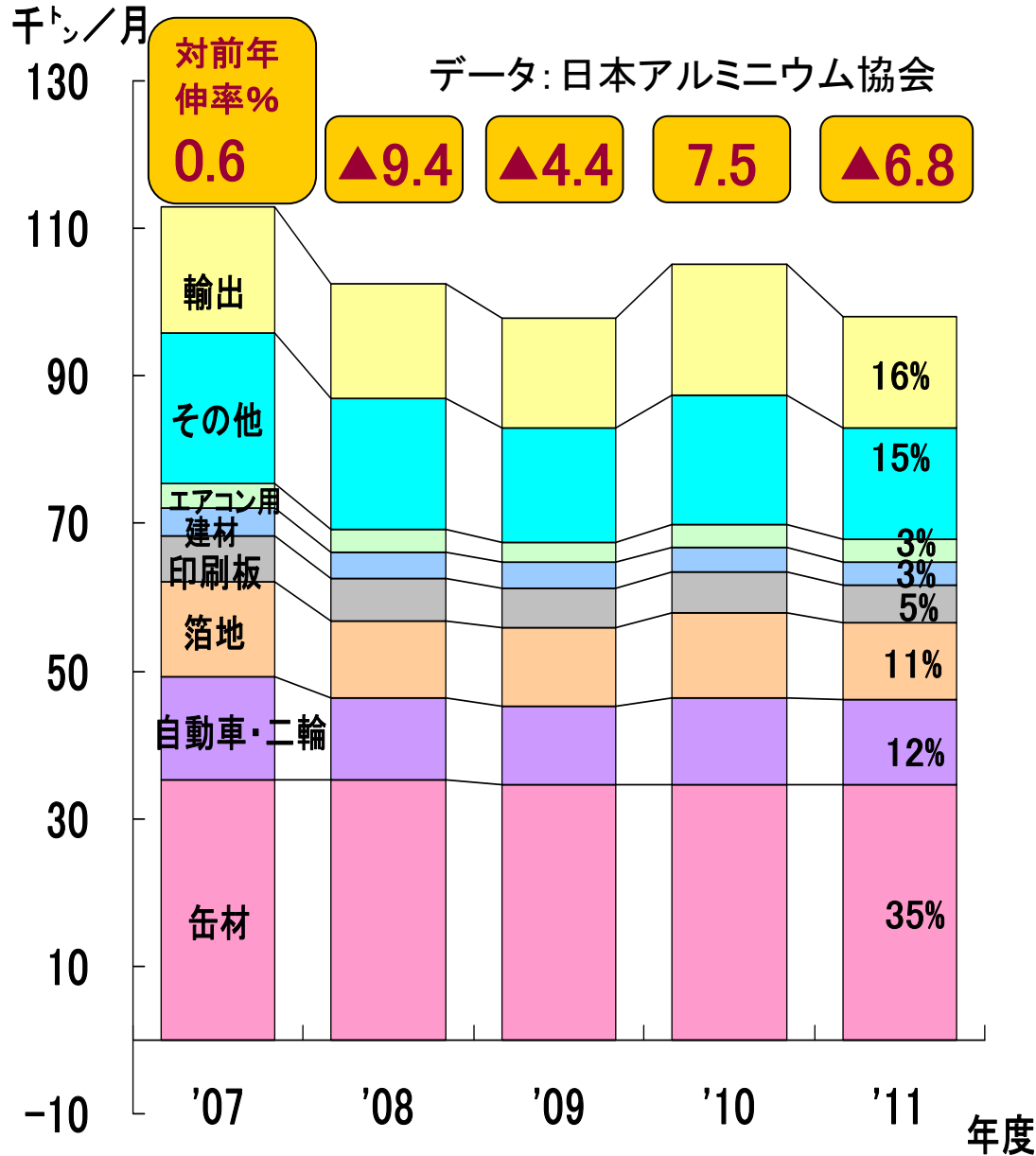


(参考資料)

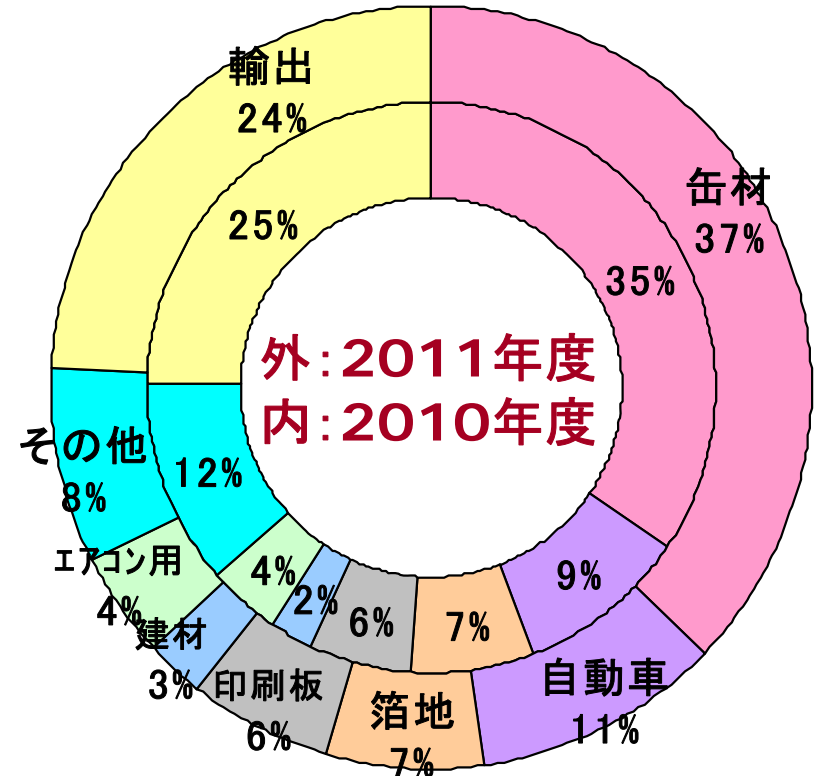
需要分野別販売概要

① アルミ板

<業界全体出荷量>

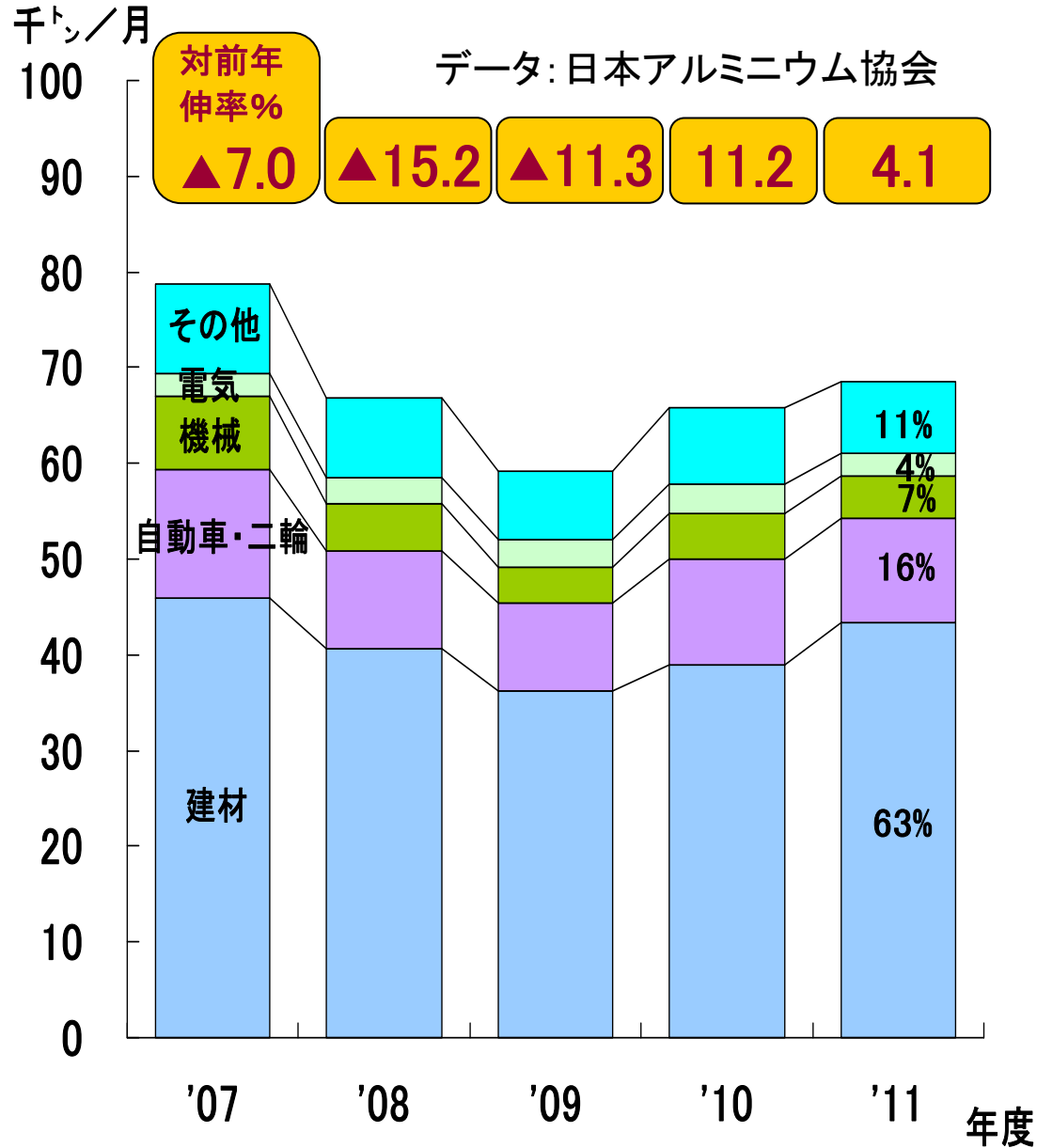


<当社販売量>

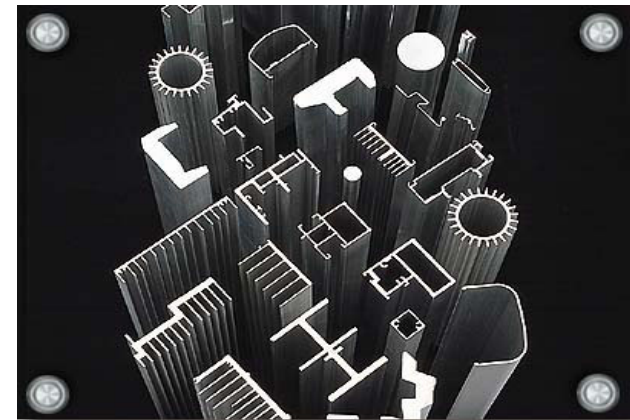
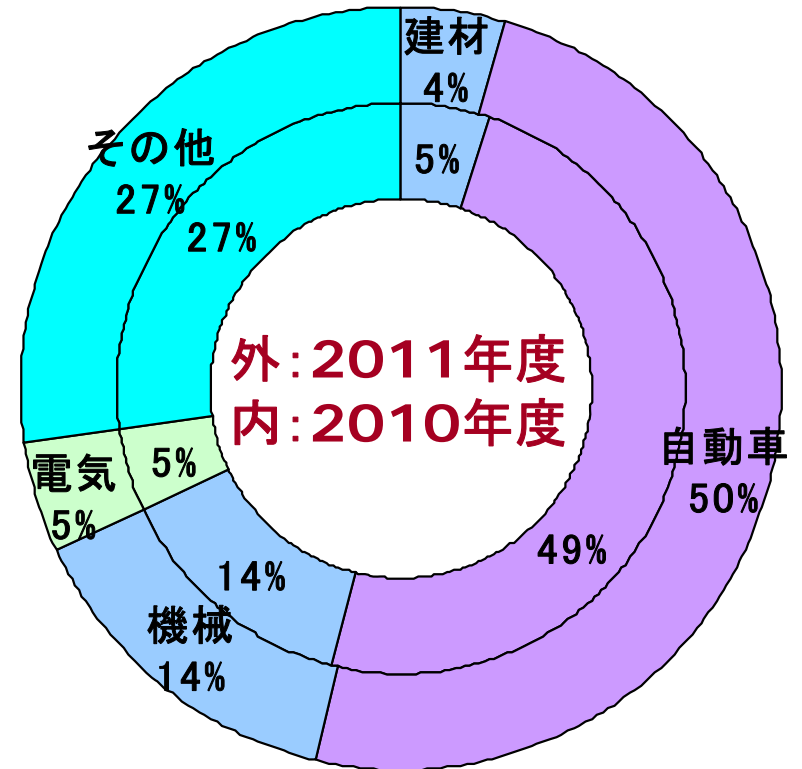


② アルミ押出

＜業界全体出荷量＞

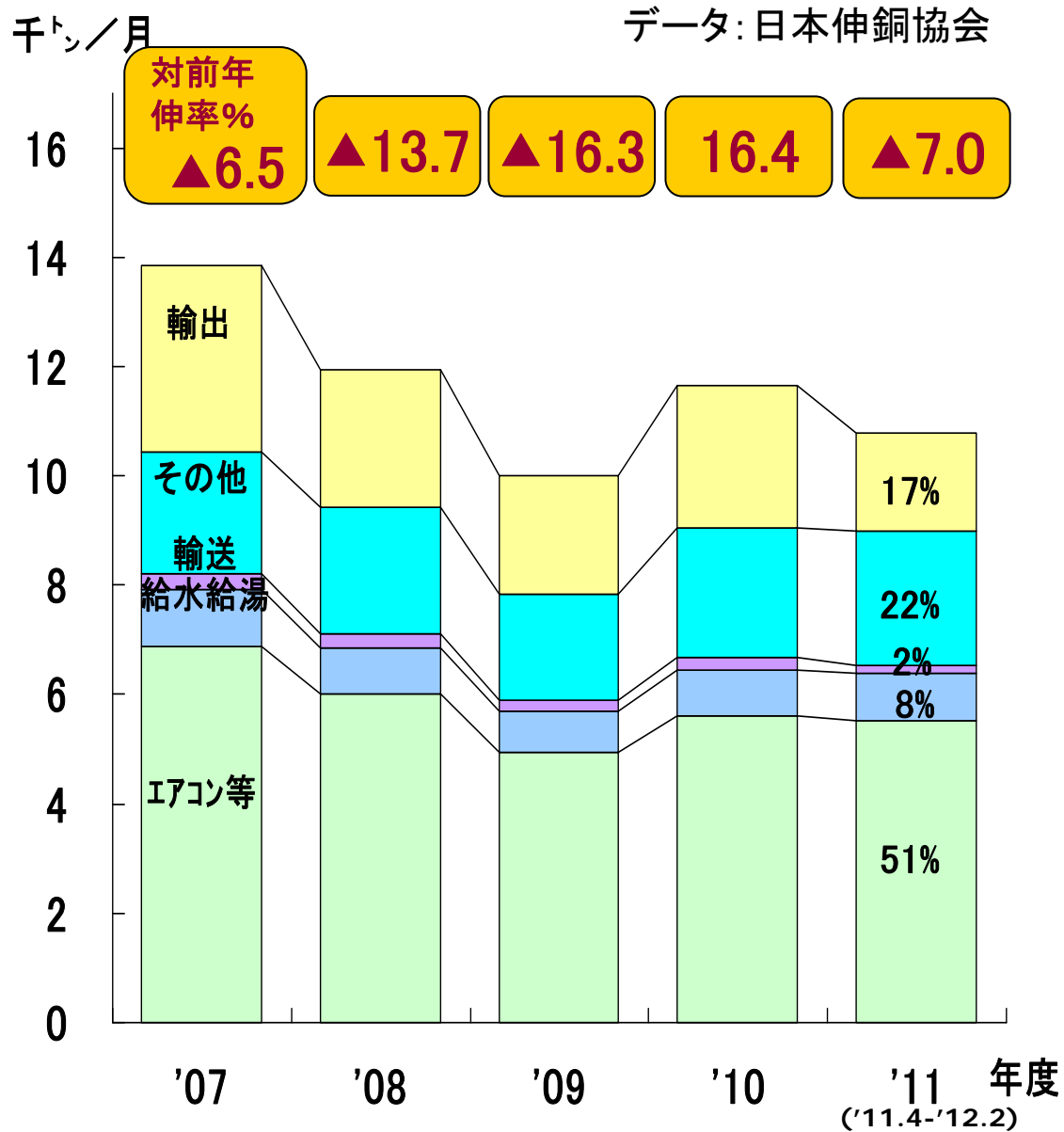


＜当社グループ販売量＞

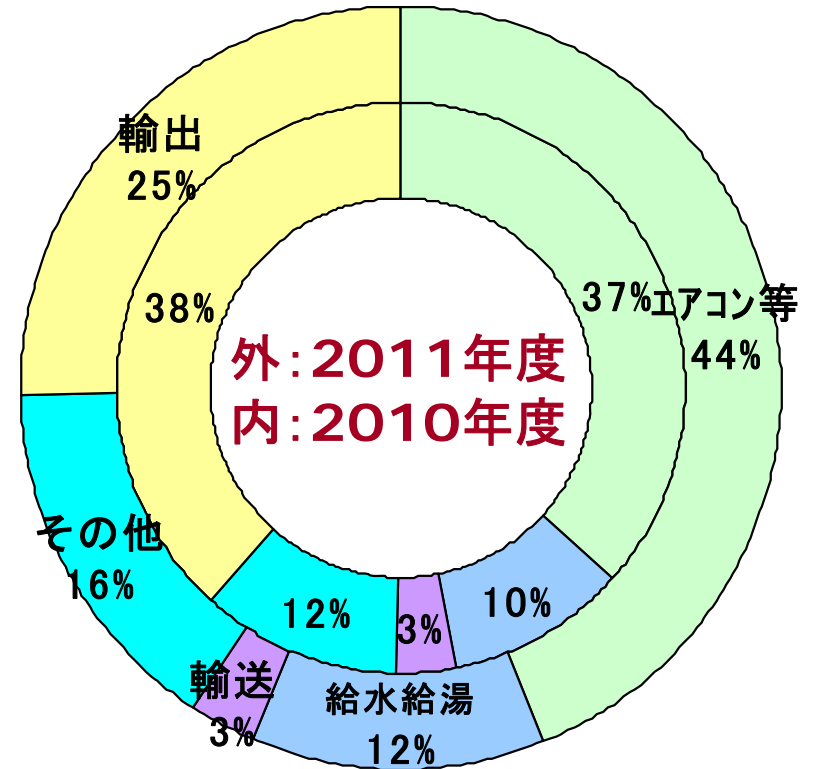


③ 銅管出荷量

<業界全体出荷量>



<当社グループ販売量>



将来見通しに関する注意事項

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。

本資料の中には、弊社の予想・確信・期待・意向及び戦略など、将来の予測に関する内容が含まれております。これらは、弊社が説明会の時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて作成されており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。弊社は、将来予測に関する如何なる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

本資料に関する著作権・商標権その他全ての知的財産権は、当社に帰属します。